



～季節の花便り～

この実、何の実？ …珍しい実！

“ミョウガ”が実をつけました！



ミョウガの実（※左下は破裂前の実）
（平成二十一年十月二十七日撮影）

謹啓 紅葉の候 皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

現在、越後丘陵公園の「里山フィールドミュージアム」にて、ミョウガが実をつけている珍しい姿がご覧いただけますので、ご紹介いたします。

食用となるミョウガは、花序（つぼみが入った房）の部分です。花が咲く前に収穫するため、実を目にすることは少なく、また、花が咲いても実をつけることは稀であると言われています。

本公園では、現在、この珍しい“ミョウガの実”を間近で見ることができます。実が熟して破裂した、熱帯植物を思わせる目にも鮮やかな赤い果皮と、白い仮種皮かしゅひに包まれた、目玉のようにも見える、種子の様子もぜひご覧ください。

つきましては、皆様には御多忙中のことと存じますが、取材並びに記事掲載の程よろしくお願ひ申し上げます。

謹言

【 お問合せ先 】

〒940-2082 新潟県長岡市宮本東方町字三ツ又 1950-1
越後公園管理センター 業務課企画係 担当：田中・山野・佐藤
電話 0258-47-8001 FAX 0258-47-8002
企画係携帯 090-7847-5001 公園 HP <http://echigo-park.jp/>

● ミョウガ

ミョウガはショウガ科の植物です。東アジアが原産で、栽培されていたものが野生化したものもあります。

ショウガと共に日本に持ち込まれた際に、香りの強い方を「兄香(せのか)」、弱い方を「妹香(めのか)」と呼んだことから、後にショウガ、ミョウガという名前になったという説がありますが、その他にも名前の由来は諸説あります。

日本では、本州から沖縄にかけて分布しており、木の陰などに自生します。食用となるのは「花序(かじょ)」と呼ばれる部分で、中に10~15個ぐらいのつぼみがあります。花序の先端に咲く淡黄色の花は、1日程度でしぼみ、次の花が咲きますが、実をつけることは稀と言われています。

また、「ミョウガを食べると物忘れがひどくなる」という俗説がありますが、実際はミョウガの辛み成分が脳に良い刺激を与え、普段よりも活発に働くとも言われています。

参考資料: 日本の香木・香草(馬場篤・舟茂洋一著)
山溪カラー名鑑日本の野草(山と溪谷社)



ミョウガの花



ミョウガの実(破裂した状態)
※白い部分は種子

● 越後丘陵公園内のミョウガ



園内では、里山フィールドミュージアムの展望デッキ南側の散策路沿いでご覧いただくことができます。

現在、約40~50個の実が確認されており、そのうち10個程を観察することができます。

10~11月の期間は、「ウェルカムゲート」からだけでなく、親沢町側にある「南口」から里山フィールドミュージアムに直接ご入園いただけますので、気軽に里山の風景や自然をお楽しみ下さい。

ミョウガの実がご覧いただけるのは、この辺りです。

駐車場(里山管理事務所前)から約400m(徒歩約10分)の距離にあります。